

題名を入れてください。

A 4 論文原稿執筆要 項表題は 16 ポイント (pt) のゴシック文字 (副題は 12 pt ゴシック : 両端をカッコでかこむ)

English Main Title:12pcTimes (英文のタイトル、概要等は著者からの希望がある場合にのみ掲載する)
(English Sub Title:12pcTimes)

所属は 9 pt 明朝 **名前は 10pt ゴシック** 明朝大学 **ゴシック太郎** 執筆高校 **執筆 一朗**
Name 9pt Times Sippitu Koukou Sippitu Itirou

本文の 9 行目に相当する位置から抄録を書き始めます。200 字以内。日本語文字は 9 pt を標準です。例えば「**・**について、**・**という発想で、**・**行なったところ、**・**という結果を得た」キーワードを含めて下さい。なお、英文のタイトル、概要等は著者からの希望がある場合にのみ掲載します。

Abstract

Abstract must be written with 9pt Times or Times new Roman Font. The number of words is within 200.

キーワード 9 pt 5 語程度 **Keywords:**Times Font, 9pt, About 5 Words

1. 章タイトルはゴシック 10 pt 太字

本資料はオフセット印刷で、縮小して B 5 版に印刷される冊子を作成する際に、A 4 版の論文原稿作成の時に必要な投稿規定の情報を、視覚的に理解しやすい形で提供することを目的として作成したものです。

$$F_D = C_p 1/2 \rho \quad |V| VS \quad (5)$$

のように記入する。式を文章中で参照する場合は、式(5)、式(7)–(10)のように番号の前に"式"を付ける。

2. 本文執筆の要点

2. 1 用紙の使い方

A 4 用紙に 52 文字 45 行、2 段組の部分は 25 文字、段間隔 : 8mm 段幅 : 82mm とする。マージンは上 21mm 下 27mm 左 18mm 右 18mm とする。

2. 4 図・表・写真およびその説明

図・表・写真は、1 段幅、あるいは 2 段幅に収まるように作成し、論文内の適切な位置には配置する。図中の文字は、十分認識できるサイズ (9 pt 程度) とする。6 pt 未満の文字は使用しないこと。また図表・写真の前後に空白行を設けること。その説明は以下に示す例のように、太字の図・表・写真番号の後に、9 pt の標準文字で説明を記入する。

例 図 1 生徒の履修状況

Fig.2 Schematic of experimental apparatus

文章中で図表などを参照する場合は、太文字で Fig.2 Tabel 3 Photo 4 などと記入する。

2. 2 使用フォント・サイズ・改行幅

標準フォントは 9pt の

和文 : MS 明朝、平成明朝

英文 : Times ,New Roman, Times Symbol とする。

ただし太文字は、9pt の和文 : MS ゴシック、平成角ゴシック、英文 : Arial.Helvctica を使用すること。上記フォントがない場合は、類似のフォントを使用すること。

2. 5 記号説明

結論・謝辞等の次に本文で使用した主な記号の説明を英語で記入する。文字サイズは、9 pt 程度とする。引用文献¹⁾は右肩に^{1) 2)}を文章中に記入し下記のように、一括して末尾に著者名文献名ページ等を示す。

2. 3 式および記号

式および記号の標準文字は、9 pt のイタリック体とする。ベクトルの場合は太文字のイタリックとする。

上下添字は 6 pt 程度の立体 (イタリックも可) とする。以下にいくつかの例を挙げておく。

$$J_c \quad V_I \quad P^A_{ijk}$$

式を記入する場合は、式の上下に白行を設け、右端に式番号を記入する。例えば、

引用文献 1) 山川谷男 : エントロピーの・・・教育, 物理教育研究, Vol.22 No.3, pp.1~4, 1999

